

会 議 録

会議名称	タウンミーティング (北川尻)	記録者	健康福祉課健康づくり推進室 次長
日 時	平成29年9月8日(金) 午後7時～午後9時10分		
場 所	北川尻区集落センター		
出席者	町 長：町長、副町長、教育長、総務課長、財政課長、企画振興課長、 健康福祉課長、地域整備課長、学校教育課長、危機管理室長 農林水産課長、農林水産課課長補佐(書記) 区長会：北川尻区長 町 議：北本議員 住 民：39人		
会議内容	1 開会 2 町長あいさつ 3 出席者紹介・開催趣旨説明(総務課長) 4 町政報告(財政課長、企画振興課長) 5 意見交換 ・小学校・保育所統廃合について(学校教育課長・健康福祉課長) ・下水道使用料について(地域整備課長) ・地区等からの要望等 6 フリートーク 7 閉会		

会議結果

<小学校、保育所関連>

●質問 1

- ・ 保育所の統合後、送迎用バスの運行はあるのか。
町からの統合の要望であり、配慮はしないのか。
- ・ バスの更新経費も視野に入れなければならないのではないのか。

○回答

町長：現状の統廃合計画ではバスの購入はしない。
過去の保育所閉鎖後、対象地域では利用しないという結果に至っている。統合後となれば、用意しなければならない。
保育所送迎用バスの更新経費は検討課題である。

学校：初めの購入経費のみの試算である。

●質問 2

P10 のランニングコストは1年なのか。10年なのか。

○回答

学校：1年に係る経費である。

●質問 3

- ・ 町の借金が多いのはなぜなのか。今後、借金が増えないよう議会運営をお願いしたい。
- ・ 統廃合は専門家でも確かな答えを見いだせない。
- ・ 統廃合で影響を受ける子どもや教職員が当事者として位置づけられていないことが課題と感じている。
- ・ 他県の小学校統廃合での事例、町内で実際にあった事例をとおして、新しい学校生活に順応できる子ばかりではなく、環境の変化につまずき、消極的になってしまった、登校できなくなった、不登校になった子どもたちがいる。また、教職員への不信感から、子どもの教育以外の保護者からの苦情の対応等があり、仕事に対する不安感が募っている。など、実際に統廃合によるデメリットがあることを踏まえて、子どもに良い環境であると統廃合を行っても、現在の環境では不安を増すだけである。
- ・ 今後の教育環境で必要と感じることは、
 - ①子どもや、教員当事者の声をよく傾聴、もちろん保護者以外の地域の方々も。
 - ②教職員の質の向上、定数や加算配置以上の教職員数が必要。
 - ③子どもや親、教職員の心のケアのため、スクールソーシャルワーカーの配置
 - ④教育現場の「見える化」を実証する必要がある。
- ・ 統廃合以外の考え方では、宮城県五カ瀬町の「G授業」、兵庫県香美町の学校間スーパー連携チャレンジプラン等の取組みを参

照し、小規模校のメリットを生かしつつ、少人数のきめ細かな指導を行えるよう、行政の固定観念にとらわれずいろいろな視点から再度、検討をしてほしい。

○回答

総務：各地域におります専門職（教職、保育士）の意見、実例など、どこまで拾えるかわからないが、幅広く情報をキャッチし、地域、子ども、将来の宝達志水町のため考えていきたい。

●質問 4

町の借金はどのくらいあるのか。

○回答

町長：200億程度。

総務：その時々で最善の施策の実施、必要性があり正しい方向性による執行である。返済しながら健全な財政を運営していく。

<下水道関連>

●質問 5

下水道の水洗化率も低下する中で、統廃合による抑制を検討してはどうか。処理区ごとに単独ではなく、処理区の統合を検討してはどうか。

○回答

町長：長期的なものであり検討する。

地域：長期計画で考えているが、かなりの年数を要する。

●質問 6

・下水道使用料の 50%の値上げは値上げではなく、ぼったくりではないか。10%、20%が値上げである。

・押水地区と志雄地区の水洗化率の差が2割ある。これはどういうことなのか。旧町では下水道法で罰せられると言われた。この加入率が 20%以上あがればどうなるのか。試算したことはあるのか。

・この 20%の加入率の差は大きい。この差を埋めるため取り組んだが数件が加入しただけで成果が無い。旧押水町でやっていた加入率を上げるための取組みが重要ではないのか。それでも赤字なら値上げである。やることをやるべきではないか。

加入の促進は図るべきではないか。

・ふるさと農道の延長でキャンプ場からインターまでの間について

全線開通できるよう、相続登記が進まない現状があるが、「のと里山海道」が出来たように取りはからってほしい。

○回答

町長：義務であるが、罰則はない。

加入者、未加入者の差は不公平感があり、解消しなくてはならないと感じている。

加入促進を図ります。

地域：100%加入の場合、150円/m³で計算すれば、1,200万円が増収となる試算はしている。

総務：これから志雄地区でも開催するので加入促進を図ります。

●質問7

下水道に加入できない理由は管がきていない物理的なものなのか。加入者自体なのか。

○回答

地域：物理的ではない。家庭の事情によるものである。

<地区要望>

●要望

ふるさと農道延長工事について

○回答

ふるさと農道は、国道249号免田地内から北川尻地内の優良農地を縦走し、里山海道へ取付く地域振興農道として計画されたものです。

延長は、3,450m、幅員11mの計画で平成5年に着工し、供用延長は2,620m、未着工区間は830mです。

現在、相続人が確定できないなどの理由により、用地取得ができず、事業休止状態ですが、町としても一日でも早い全線供用開始をめざし、北川尻区の協力をいただきながら、事業を進めていきます。

●質問8

「里山海道」を作ったとき誰も相続していない。町も同じようにできないのか。特別な法律でもあるのか。県と協議してはどうか。

○回答

町長：9月補正予算に計上。調査を進め、一層、取り組む。

この予算は司法書士への委託経費である。

前向きに検討します。

●要望

町道北川尻10号線の改良整備について

○回答

当該道路については、町道に認定はされていますが、数十年前からの経緯もあり改良されていない状態です。

今回の要望にもあるように、災害時等において北川尻集落から青少年ホームへ避難するための道路整備につきましては、今一度、集落と町とで、当該道路の必要性を含め、道路改良に要する予算の確保、費用対効果、用地関係等の諸問題、集落負担金などについて協議していきたいと考えております。

●要望

要望：町道昇格及び消音工事について

○回答

町道認定については、宝達志水町町道認定要綱に基づき、道路幅員4メートル以上で道路境界が明確であること及び集落（5戸以上の住宅密集地）と主要道路との連絡路などに該当しなければなりません。現状では4メートル以上の幅員はクリアできると思いますが、5戸以上の住宅密集地に該当はしないため、町道認定の要件を満たさないと考えられます。

今後、北川尻区と地域整備課において現地確認などを含め協議を行い、町道認定への必要性、効果などを検討していきたいと考えます。

区道内の横断側溝のグレーチング（蓋）のがたつきについては、区での対応をお願いします。

なお、区道の整備等においては、区道整備等補助金制度（事業費の50%以内で500万円を限度）がありますので、ご相談いただきたいと思っております。

●要望

喜多家案内看板設置工事について

○回答

喜多家に車・バスで観光に来られる来訪者が、北大海第一保育所前の道路を通過することから、子どもたちや送迎者の安全のため、観光客に分かるよう今浜インターと喜多家を結ぶ誘導看板設置について、平成28年度の集落要望にあったため、喜多家駐車場に「米出インター」への案内図を加えて新たに設置し、来場者に米出インター方向への通行をお願いしています。

米出インター出口に、新たに「喜多家」への誘導看板を設置する要望ですが、関係課とも相談し、能登カントリー敷地に設置され

た町看板等が利用できないか検討します。

また、集落への誘導看板については、全集落の看板設置について検討します。

<フリートーク>

●質問 9

カーブミラーの修繕を2カ月も経過しているがまだ設置されていない。早急に修繕してほしい。

○回答

総務：早期に修繕します。

●質問 10

北川尻のバス停東側の冠水対策をお願いしたい。

○回答

町長：冠水要因のひとつとして考えられる河川や水路等の管理者と協議したい。

●質問 11

- ・防災無線の放送内容が聞き取れない。
- ・小学校の統合に伴い避難施設として小学校は使用するのか。

○回答

危機：現状は指摘されたとおりです。ホームページや安心ほっとメールなどもあるのでそちらで情報を入手してほしい。

町長：小学校は避難所として使用できるよう検討する。

●質問 12

支出を減らす方法として、具体的なもの、考えはあるのか。

○回答

職員数は減らす方向で考えている。職域を考えて。

<意見>

- ・下水道の加入促進をしっかりとやるべきである。
- ・地区内の小学校がなくなれば、若者が住まなくなる。夢を与えるような教育を求める。将来的には町の繁栄につながる。町に誇りを持っている、町を作ろうとするから町外へは行かない。
- ・下水道料金を下げるために考えてほしい。
- ・ふるさと農道の予算が計上されていたが執行されてこなかった。問題は、その道路をつなげることはやる気しだいである。
- ・北川尻区民はボランティア精神が多々ありますが、できないこ

とを町に頼んでいる。

●質問 1 3

- ・ P10 に記載されている一時的コストについて、発言者の周りの保護者からはエアコン設置、プールの修繕等の希望もしていない。現状のままで小学校を存続してほしい。希望もしていないのに経費がかかるなどはおかしいと感じている。
- ・ 統合の場合は、相見小学校を検討しているのか。中学校も保育所も相見にならなくていいと思っており、第一小学校を残してほしい。少子化が進むにつれ、押水第一小学校でも全員が入れる人数になるわけである。
- ・ 統合ありきの説明をしている。

○回答

学校：意見はいろいろありますが、近隣市町では設置されている。かほく市と類似する内容(見込み)で経費を試算している。

町長：・他市町がしているから当町がしなければならないということもありません。エアコン等が必要ないというのは、一つのご意見として承ります。

- ・ 校舎の教室等の数が多いことから相見小学校を選択している。統合は現時点で考えていない。
- ・ 統合ありきと取られる説明をしている点は反省します。
- ・ 相見小学校も古いため、まだ先の話ではあるが建替えも検討しなければいけない。他の集落では、早く統合をしてほしいとの要望もあり、もう少し意見を集めたいと考えています。公平を期すためアンケートの実施も考えている。

●質問 1 4

- ・ 役場幹部が現場の声を真摯に受け止め、町長のサポートをすべきではないか。
- ・ 職員も町民であり、みんなで力を合わせてやってほしい。

○回答

町長：私の責任であり、もっとしっかりしていきたい。ありがとうございます。

●質問 1 5

宝達中学校の冬場の送迎について、スクールバスでの送迎は実施できないか。

○回答

町長：検討します。

●質問 16

総合戦略からの視点がない。きちんとした説明をお願いしたい。
公平に物事を進めていただきたい。

○回答

町長：・保育所や小学校などのほか、人口問題や将来に向けての町づくりをよく考えながら実施しなければならないことができていない。小学校がなくなれば活性化の逆行となることを考える。
・各会議での委員の立場からの意見をないがしろにしない、不公平感を抱かせないことも大事である。一度にはできないがひとつひとつ努力していきます。

●質問 17

統廃合の話はいつ頃に結論を出す予定ですか。

○回答

町長：来年度中に結論をだしたい。5年、10年ぐらいの計画として。また、いろいろな意見もあったので、もう少し意見を聴取したい。